

第38回（2022年） 地域農政フォーラムのご案内

農村は私たちの食料を生産する農業の場であり、そこで、様々な多面的機能を発揮して生活環境を守る役割も担っています。将来にわたり農業・農村が健全に維持されるには、そこで生産される農林水産物や食品が円滑に流通販売され、収益を生み出すことが重要です。一方で、3年前から続く新型コロナウイルス感染症の影響や緊張感を増す国際情勢は、社会経済の有り様や人々の価値観に大きな変化をもたらし、農林水産物や食品の流通形態にもネット通販や宅配のウェイトが増すなど、新たな動きが生まれています。

今回のフォーラムでは、現場からの報告として、(1) 兵庫県産バジルを活用した商品開発、(2) コウノトリ育むお米の販売戦略、そして行政からは、(3) 兵庫県産農林水産物流通戦略の展望などの話題提供をお願いし、兵庫県産農林水産物・食品を生かす様々な取り組みについて議論します。

1. 日 時： 11月18日（金） 午後1時～4時30分

2. 場 所： 神戸市教育会館 501号室

神戸市中央区中山手通 4-10-5 電話 078-222-4111

（地下鉄県庁前駅下車、県民会館前を東へ徒歩約10分、JR元町駅下車、東口を出て鯉川筋を北に徒歩約10分、コープこうべ西隣）

3. テーマ： 「どう届けるか、安全安心な兵庫県産農林水産物・食品」

○フォーラムの狙い：三浦恒夫氏（NPO 法人兵庫農漁村社会研究所研究主幹）

① 発題1 現場からの報告「兵庫県産バジルを活用した商品開発～地域との関係構築～」

（エム・シーシー食品株式会社業務管理部長 小嶋 拓氏）

② 発題2 現場からの報告「コウノトリ育むお米の販売戦略～県内・全国、そして海外へ～」

（たじま農業協同組合営農生産部課長 木谷和喜氏）

③ 講話 「兵庫県産農林水産物流通戦略の展望」

（兵庫県農林水産部流通戦略課長 杉本英久氏）

総括と討論

コーディネーター：三浦恒夫氏（NPO 法人兵庫農漁村社会研究所研究主幹）

4. 参加費： 1,000円（資料代を含む）

5. 申込み： 氏名、住所、所属、人数を明記の上、メールもしくはFAXにて下記研究所にお申込み下さい

次回（次年度）予告： 2023年11月17日（金）、13時。テーマ、会場等は未定

NPO 法人兵庫農漁村社会研究所

651-0067 神戸市中央区神若通 5-3-20-2F 北

TEL/FAX 078-241-4822 、 e-mail: yas_noken21@kcc.zaq.ne.jp